

「境港市スポーツ推進審議会」議事録

【日 時】平成27年10月26日（月）16:30～17:30

【会 場】中央公民館

【出席者】梅木千賀子・竹内栄・足立勝也・善波周・田中茂人・角和子・岩田慎介
（7名、敬称略）

【欠席者】岡崎茂・嘉賀収司（2名・敬称略）

【事務局】佐々木邦広（教育長）

黒崎享（生涯学習課長）

竹内勝（生涯学習課文化体育係長）

梅谷俊一（生涯学習課文化体育係主任）

《内容》

1. 開会

2. 教育長あいさつ

市民体育館の耐震改修では現在設計を行っており、28年度中に耐震補強・照明・床の工事を完了したいと考えている。美保飛行場周辺まちづくり構想事業においては、市民会館の建替えと同時に、竜ヶ山周辺に屋内施設や屋内スポーツ広場などの体育施設を整備したいと考えている。市民会館の建て替えについては、ホールのほか、図書館や福祉などの希望を加えた複合施設という案が出ている。ホールでは、座席数を現在の水準にするかどうか、また、座席を固定式・可動式どちらかにするかという選択肢がある。可動式だと、災害時に被災者の収容が可能になる。建設のスケジュールについては、平成29年度ぐらいから解体を始め、30年度ぐらいに着工、32年度ぐらいに完成を考えている。竜ヶ山周辺に整備する体育施設の方向性については、スポーツ推進審議会委員の皆さんの意見を尊重しながら進めていきたいと考えている。

2. 会長・副会長選出

委員の互選により、竹内栄氏を会長、角和子氏を副会長に選出

4. 報告事項

（1）保健体育費の主要事業について（要旨）

- ・健康ウォークは、昨年に引き続き江島大橋を通るコースで開催したが、参加者が減少した。体力テストも昨年に比べ参加者が減ったため、来年度は多くの方に参加していただけるようPRしていきたい。

- ・日韓口駅伝交流では、昨年同様、韓国選手が国体と重なったため参加できず、ロシア・ウラジオストク市チームのみの参加となった。ウラジオストク市チームは、駅伝のほか、境港ジュニアアスリートクラブの小学生と交流を行い、意義ある交流事業となった。
- ・市民温水プールでは、老朽化により多くの箇所が劣化している。今年度は、空調ダクトの改修を行うほか、プール室天井と内壁の劣化状況の調査を行っている。
- ・スポーツ広場では、南半分の芝生化 toto（スポーツ振興くじ）助成を財源として予定しており、交付が決まり次第、事業実施の予定。

(2) 体育施設の利用状況について

- ・市民温水プールでは、昨年4月から、70歳以上、身障者、機能回復訓練対象者を無料化したため、対象者の利用が増えている。

(3) その他

- ・事務局から、美保飛行場周辺まちづくり構想について説明
- ・竜ヶ山周辺に整備する屋内施設としては、地区体育館以上の規模のものを考えている。設置場所は、球場や陸上競技場のうち、現在、駐車場として使っているスペースだと、陸上関係者なども雨天時に使用することができるのでベストではないかと考えている。今年度、整備する規模などについて決めていく予定である。

(4) 海のスポーツによる地域活性化事業について

昨年度、海のスポーツによる地域活性化事業を実施した。この調査事業は、日本スポーツ振興センターの委託事業として、スポーツを使った地域活性化のためにはどういった助成金があった方がいいか、それに対して、境港市での活性化案をまとめた。検討委員会等。2020年、東京オリンピックの効果を鳥取県に呼び込むきっかけになれば。ヨット・セーリングでは国際大会を開催した実績、公共マリーナ。セーリングに特化するのではなく、海に関わるスポーツというテーマとした。人材育成については、海のスポーツの総合型地域スポーツクラブにおいてライフセーバー等の人材の育成が必要である。小規模な大会への助成。10万円程度の小規模な大会への助成があると、開催が広がるのではないかと考えている。美保湾岸に、歩きやすいようなコースを整備したらよいと考えている。

5. 意見交換

<委員>スポーツ少年団があるのが、渡外江・余子・誠道の4校区。誠道では、単独でチームが組めないのが、余子と共同でチームを組むなど工夫して何とかやっている。小学生が最も多いのが、渡・中浜。中浜は、転勤族が多いこともあり、なかなかスポーツ少年団ができない。一部がクラブチームに流れているのも一因。現在、スポ少の年会費は5千円で、その他、登録料などで年に1500円必要。これ以上値上げすると、母子家庭や父子家庭など入りにくくなる。実際にはその他にも諸経費がかかる。年々母子家庭が増えており、対応が難しい。クラブチームには入りにくいので、なるべくスポーツ少年団で対応したい。市では色々と施設は整備してもらえが、一番大事なのは人口減少への対応。人口が減るところに発展はないので、考えてもらいたい。

<委員>ことぶきクラブ連合会の理事と、健康委員長として運動会等の役員をしている。体育館を早く使えるようにしてほしい。市民会館も早くしてほしいという意見が多い。

運動会は、例年、市民体育館で開催しており、食事をしながらするのが楽しみだったが、第2体育館だと食事ができないので、今のところは半日開催としている。当面は第2体育館で開催すること了承を得たが、スポーツ広場では、芝生化の関係でB面が使えない。A面だけだとコースが取れないので、規模を縮小しながら行うしかない。市民会館では、作品発表・ステージを1日で開催していたが、ステージは文化ホールで開催することになった。文化ホールは400席。竜ヶ山スポーツ施設は、市民体育館とは別か？

<事務局>市民体育館とは別に整備する方向で考えている。

<委員>文化祭・運動会を楽しみにしているので、規模を縮小しなくてもよいよう、対応をお願いしたい。

<委員>海のスポーツ活性化事業の委員として加わった。各所を視察した中で、信念を持ったリーダーが不可欠。セーリングに関わっているが、競技面を見ていても、人材の育成が不可欠。スポーツ少年団。リーダーが離れると消滅する。リーダーの魅力が活性化に必要。人材がいる体制を作っていく。境港は海に囲まれているが、海に依ってはいけないという指導している。子ども達が自分達で海に近づき、安全に配慮できる体制が設けられたら、活性化にもつながるのではないか。

<委員>健康ウォーク・体カテストをスポーツ推進委員で協力しているが、参加者が少ない。市報に載せたものは放送できないと言われた。市は体カテストを勧めている。もっとPRを。体カテストでは、一般市民の参加は10名程度。スポーツで健康な街づくりをうたうのであれば、市民の参加する方法を考えてもらいたい。今年も、生涯スポーツとして、7公民館の体育関係者に参加してもらい、地域で広めてもらう目的で行ったが、参加が少なかった。企画しても参加が少ないと残念。

<委員>街づくり構想のメンバーとして出席しているが、体育館と屋根付きという話が出ている。フットサルなどの説明があると、後でもめる。皆が使うものなので、特定の競技用と思われる。表現を考えてほしい。あくまで参考の大きさであることが分かるようにしてほしい。

<委員>補強にはトイレの改修も入っているか？

<事務局>現在、工事内容を精査している。トイレの老朽化は把握している。

<委員>トイレは洋式でお願いしたい。

<事務局>使用しなから必要なところを年次的に改修していく。

<委員>境スポーツクラブで体育館を使用している。新しい体育館が使用できる日を楽しみにしている。

<事務局>市としては、最優先で取り組んでおり、来年度末までに工事を終えたい。平成29年4月に間に合わせたい。